

## 相談支援事業所 相談に関する報告(平成30年6月～平成30年9月)

<課題を感じた事例>…全体的な所感(相談内容の傾向)、特に気になった点

<地域課題>…報告期間に感じた地域課題

### 【春日苑】

<p>&lt;課題を感じた事例&gt;</p>	<p>【複合的な問題があることにより、家族全体に関わる必要があったケース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の障がい(ハンチントン病)の進行により、本人が今までできていた家事が上手くできない(調理、洗濯、部屋の片づけ、育児等)ことによって、子どもの教育環境への影響が懸念された。また、一般就労していた夫(脳性麻痺)の負担が大きくなり、就労時間等に関しても変更を余儀なくされている。</li> <li>・精神的な不調の影響や障がい受容ができていなかったことで、本人が福祉サービスに対して拒否的であったため、本人のペースに合わせながら支援調整を行う必要があった。</li> <li>・本人に知的障がいやてんかん発作があり、幼い子どもを3人(3歳、1歳、0歳)抱えていたことから、居宅介護導入の希望があった。本人が物事を忘れやすいことや理解力が乏しかったことから、子どもの発達状況についても心配があった。同居の夫については、長時間勤務で自宅にいない時間が多い。</li> <li>・同一世帯に身体障がいの夫、知的障がいの妻、知的障がいの子どもが居住しており、同アパート別世帯に知的障がいの妹がいる世帯のケースでは、ゴミの散乱による住環境悪化、近隣トラブル、教育状況の影響、金銭トラブルなどの複数の課題が混在していた。</li> </ul> <p>同一世帯に複数の課題を抱えるケースでは、初回面談では課題が多く、潜在化している部分も多いため把握が難しいことがある。早期の解決を望まれる一方で、他機関との課題に対する情報共有や支援内容の統一等、優先順位を決めて継続的に関わる必要がある。</p>
<p>&lt;地域課題&gt;</p>	<p>【障がい者の子どもに対する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親に障がいがある家庭における、子どもに対する支援(園への送迎など)が限られている。</li> </ul> <p>家庭を地域で支えていけるような仕組みづくりや、公的サービスの対応範囲の拡大を考えていく必要がある。</p>

### 【かすがい】

<p>&lt;課題を感じた事例&gt;</p>	<p>【外国人の支援で困難が生じたケース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障がいの疑いがある外国人の方で緊急時やインフォームド・コンセントを受ける場合に支援がなく困ったケースがあった。片言の日本語を操ることができ日常生活はさほど困ることは無いが、緊急手術となり同意を求められた場面やサービス申請など契約行為になった場合に、相談員だけでは言葉の壁があり理解してもらうのに苦勞する場面が多々あった。様々な関係機関が連携することで必要なサービスに繋げることができたが、意思疎通の部分で誤解を受けることもあった。</li> </ul> <p>【民生委員からの相談で支援に繋がったケース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員からの相談で高齢の父と知的障がいの疑いのある娘に何らかの支援が必要と判断し市へ報告したケースがあった。父は地域包括支援センターが介護認定の手続きを勧める方向で動き、娘は福祉サービスを受けるために医療機関への受診に繋いだ。住宅は老朽化でリフォームが必要。経済的にも困窮しており父親の年金11万円/月のみで生活している。まだまだ解決すべき課題があり本人達が安心、安定した生活を送れるように地域包括支援センターと連携し支援を進めていく。</li> </ul>
<p>&lt;地域課題&gt;</p>	<p>【社会資源の周知不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母語でないため日本語の理解が難しく、障がいがある方に対しての、社会資源の周知。</li> <li>・インフォーマルで動いてくれる人との連携体制の確立。</li> </ul>

## 相談支援事業所 相談に関する報告(平成30年6月～平成30年9月)

<課題を感じた事例>… 全体的な所感(相談内容の傾向)、特に気になった点

<地域課題>… 報告期間に感じた地域課題

### 【JHNまある】

<p>&lt;課題を感じた事例&gt;</p>	<p>【計画相談完全実施に向けた説明のばらつきについて】 今まではセルフプランの提出で福祉サービスを利用していた人が、各事業所や支援機関の紹介でJHNまあるの相談に繋がり、計画相談について初めて知ったと言われるケースが多く、情報は皆無に近い状態だった。福祉サービスは利用しているものの、計画相談については情報が届いていないケースが今も多くあると感じている。未だにセルフプランを受け付けていただけるとしても、推奨することなく、現時点から計画相談について適切な説明をし、関係機関との連絡調整を行っている。</p>
<p>&lt;地域課題&gt;</p>	<p>【関係機関との連携】 ・計画相談の利用状況の把握、情報共有について、福祉サービス事業所を含めた関係機関での共有が必要 ・サービス種別を越えた福祉サービス事業所や関係機関との関係作り</p>

### 【あっとわん】

<p>&lt;課題を感じた事例&gt;</p>	<p>【登校しぶり、不登校の子どもがいる保護者支援について】 ・小学生の子どもを持つ保護者から「子どもが学校に行きたくないという理由がわからず、困っている。母と一緒に登校しているが、どうしたらいいか」という内容。 ・他機関から「中学生の子どもが学校に行けてない。保護者にも支援が入っており、どうしたらいいか」という内容。</p> <p>【園児の送迎について】 ・計画相談支援事業所から「医療的ケア(酸素)のある重症心身障がい児で、きょうだいの送迎時に利用できるサービスはないか。もしくは、きょうだいを送迎している間に本児を見守りしてくれるサービスはないか」という内容。 ・他支援センターから「保護者が難病で子どもを園まで送迎ができない。特に延長保育を利用すると園のバスに乗れないため困っている。何か利用できるサービスはないか」という内容。</p> <p>【他機関からの相談について】 ・「心疾患があり、在宅酸素と経管栄養(経鼻)の医療的ケアがある。保護者が育児に疲れており、育児支援はないか」という内容。 ・「2歳で心疾患があり、在宅酸素の医療的ケアがある。きょうだいが入浴時に本児から目を離せないの、見守りをしてくれるサービスはないか」という内容。 ・「小児がん(神経芽腫)の子どもが入院しており、保護者の付き添いが必要である。きょうだいがあり、育児支援はないか」という内容。</p>
<p>&lt;地域課題&gt;</p>	<p>【子育てを支える地域の仕組み】 ◆既存の制度だけでは行き届かない子育て中の保護者を支える資源が少ないが、公的なサービスや支援だけに頼らないような仕組みや地域福祉のあり方を考える必要がある。</p> <p>※地域福祉…地域住民同士の助け合い。公的なサービスを求めて「〇〇して欲しい」ではなく、限りある人や環境、資源の中でどのように考えていくか。</p>

## 相談支援事業所 相談に関する報告(平成30年6月～平成30年9月)

<課題を感じた事例>…全体的な所感(相談内容の傾向)、特に気になった点

<地域課題>…報告期間に感じた地域課題

### 【しやきょう】

<p>&lt;課題を感じた事例&gt;</p>	<p>【「親亡きあと」に関する本人・養護者間に関する事例】          養護者による虐待、もしくはそれに類する相談の中で、「親亡きあと」の不安を背景にした案件が複数件(虐待案件含む)報告されている。          親は「いつか本人は一人で生きていかなければならない」という思いが強く、その背景に、既存の社会保障制度や社会資源、福祉サービスの存在や活用方法が分からず、「親の手から離れ、支援を受けながら生活する具体的なイメージ」を抱けないことがあった。結果として親と本人の関係性は著しく悪化し、養護者による虐待や、逆に本人から養護者への暴力・暴言等が絶えない環境に発展していった。          個別支援会議や計画相談を導入することで「親亡きあとの具体的な生活イメージ」を提示し、必要以上の不安や心配を与えないよう、まずは親に安心感を持ってもらえるよう支援した。</p>
<p>&lt;地域課題&gt;</p>	<p>【社会資源の周知不足】          ・社会資源の周知が不足することで家族の将来への不安が増大し、本人に対する不適切なかかわりに発展することが心配される。</p> <p>⇒本人や家族に対し、直接社会資源の情報を発信する機会が乏しい。既存の家族会との連携を強化していくと共に、「支援を受けて生活する」イメージの周知と理解を本人や家族・支援者にも広げていく機会が必要。          併せて社会資源の充実も必要。【衣・食・住】だけでなく「いきがい」「やりがい」「役割」に焦点を置き、福祉分野に限定されない「生活の仕方における選択肢」が求められている。</p> <p>⇒民生・児童委員や地域包括支援センター等に対し、社会資源や地域における役割作りについてなどを検討する場を設けていく事が望まれる。</p>